

第2回避難訓練

☆不審者侵入を想定した避難訓練☆

6/10(金)に第2回避難訓練が実施されました。今回は、不審者が校内に侵入し、避難の必要があるという想定で実施しました。笛や放送の合図で緊張感が高まり、どの子も真剣な態度で避難訓練に臨むことができました。



休み時間にいつも通り、みんなは外遊びをしています。



不審な人が校門近くにいる、子供たちは驚いています。



不審者を発見した教職員が笛の合図で職員に知らせます。校内放送で避難指示が出され、素速く教室に避難しているところです。



刺股を持った教職員が不審者役の鈴木さんと対峙しています。



(スクールガードリーダーの鈴木さんの話)

「お・か・し・も・ち」この言葉は、事件事故が発生したときに慌てずに静かに行動しなさいということです。なぜ、避難訓練をするのかと言うと、命を守るために、けがなく安全な場所へ移動し、身を守る方法を訓練するためです。

不審者に声を掛けられたり、襲われそうになったりした時にどう対応し逃げるのかをお話しします。不審者の誘いにはのらないこと、はっきり断ってその場から立ち去ることが大切です。不審者に出会ってしまったら防犯ブザーを鳴らし、110番の家に逃げ込んでください。



(校長先生の話)

不審者が学校に現れた時、学校の建物の中が安全な場所だから全員が学校に入って安全を確認する。これが担任の先生の役割です。不審者を学校に入れない。これは担任でない先生ががんばって行います。皆さんが校舎内に入ったのを確認して、内側から鍵をかけ不審者が入れないようにします。学校の中が安全になるよう先生たちが頑張ってやっています。

